

日越外交関係樹立 50 周年記念 和歌山県高校生ベトナム派遣事業

岸本周平和歌山県知事から激励
ダナン市にて



レクイドン高校訪問



七月二十六日(水)から七月三十日(日)まで、日越外交関係樹立五十周年記念和歌山県高校生派遣事業に本校生徒三名が参加しました。派遣団は和歌山県内七校の高校生十九名からなり、ダナン市やホイアン市を訪れました。ベトナムの高校生との交流や日本人の高橋淳子さんの遺志によって建てられた小学校での植樹活動、環境及び防災に関するプログラム等を通して、互いの国を理解し合い、環境保護や防災に関する意識を高め、友情を育むことができました。

【主なプログラム】

- 7/26(水)南紀白浜空港からダナン国際空港へ
着後、在ダナン日本国総領事館表敬訪問
- 7/27(木)レクイドン高校訪問・交流
チャム博物館見学
環境保護に取り組む Glassia 社見学
ミーケービーチ見学
- 7/28(金)ジュンコ小学校訪問交流・植樹活動
ダナン大聖堂、五行山、
クアンテーム寺内の美術館見学
- 7/29(土)ホイアン旧市街参観
ホイアン市日本橋地域水質改善計画の
プロジェクトサイト見学
クアンナム省主催昼食会
ソンチャー半島リンウンパゴダ見学
深夜、ダナン国際空港発
- 7/30(日)南紀白浜空港着、解散

【参加生徒による感想】

三年 片山嶺奈

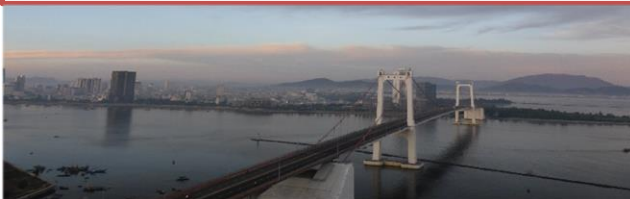
この行事を通して様々な点で成長することができたと思います。多くのこと見聞きし、体験し、刺激を受けることで視野がとても広くなりました。ベトナムを訪れる前から世界は広いということはもちろん知っていました。世界は広いです。実際日本から一歩も出たことがなかった私にとって世界は私の想像をはるかに超える広さだということを知りました。私が知っていた世界は、日本という小さな島国に過ぎなかったのです。私たち派遣団はベトナムのダナンというリゾート地に宿泊していたので、ベトナム

はとても綺麗で明るくて、活気のある国だしやすい国だとばかり思っていました。バスで数十分ほど揺られていると街並みが一変しました。バスの外には、お店や病院が見当たらず、扉もなく今にも吹き飛ばされてしまいそうな家や、濁った川など、とても過(こ)しやすいとは言えない景色が広がっていました。同じベトナムという国で、たった数十分ほどしか離れていない地域なのにこんなにも違っていることに驚きを隠せませんでした。

この体験を通して物事の一部分だけを見て決めつけるのではなく、全体を見て判断することの重要性を学びました。まだまだベトナムについて知らないことは沢山ありますし、日本についても知らないことは沢山あります。日本に住んでいるからと言って、ベトナムに行ったことがあるからと言って、知った気にならないで今後も積極的に学びたいと思います。この行事を通して得た様々な知識、経験を今後の活動に最大限に活かしたいと思います。

二年 吉村晃

自身が個人的に最も興味があった日本との生活や食事、考え方の違いについては本当にたくさん驚きを感じることができました。ベトナムのどこへ行っても香るスパイシ





ーな香りや、日本に比べ整備が整っていない道路を大量のバイクがクラクションを鳴らしながら走り回る光景は、まさに外国を

感させるものであり、帰国した今でも鮮明に思い出される。それと同時に、日本のインフラ整備の素晴らしさ、生活水準の高さも再認識させられる形となった。そうは言っても、根強い宗教文化からくる派手な寺院や真面目でかしこい性格など、日本がベトナムから学べることはまだまだたくさんあるようだった。

今回、和歌山県内の高校生たちとの交流も外せない良い経験だった。他校の高校生と五日にもわたって深く交流したのはもちろん初めての上、選考で選ばれた人たちということで、コミュニケーション力に富んだ人たちがばかりという印象だった。特に彼らのベトナム人に自ら進んで話していく姿勢や初対面の私に対しても気軽に話しかけてくれる様子から、まだまだ未熟な自分に気付かされた。このメンバーでなければこれほどまで良い思い出にはならなかった心の底から思う。



他にも、環境保護に関するプログラムにも参加させていただいた。見学したのはGOS社。ベトナムでは日本と違い水道水が飲めない環境にあるため、飲料水を買わなければいけない。そこで、現地ではピンをリユースすることで環境に配慮しながら水を販売するということをを行なっているそうだ。この見学で最も驚いたのは、その見学させても



らった工場がゲームセンターの横にあり、ガラス張り誰でも見られるようになっていたことだ。Gasia社の方によると、自分たちの活動を知ってもらうにはこれがベストなんだそう。環境問題に取り組もうとするその熱心さに思わず感動した。その後、日本が資金援助してきた下水処理場にもやってきた。設備が

整っていないベトナムでは、このような資金援助は大変助かるそうだ。この二つの見学から、今まで考えたこともなかったが海外で現地のために働くのも悪くないと感じた。こんなことは身をもって海外で感じなければ思いつかなかったと思うので、知見が広がったという意味で重要なことを学ばせていただいたと感謝している。

二年 本田亥節

三泊五日と海外派遣にしては短い期間だったがように思えるが、一生記憶に残る思い出となった。いただいたこの機会と経験をこれからの社会や将来の自分に役立てるよう、これからも精進していきたい。

今回は人生で初の海外訪問だった。そして飛行機も初めてだったので、離陸する瞬間はとても胸が高鳴った。ベトナムに着いてすぐに感じたのは、やはりダナン特有の気候である。飛行機に乗る前にいた白浜空港と比べじめじめとした暑さがあり、当初は自分がこの気温に耐えられるのかという不安に駆られた。しかし、それはさまざま施設に行くうちに慣れることができ、視察に集中できてよかった。一日目は在ダナン日本国総領事館にてダナンについての説明を聞いた。ある程度予習をしていたつもりだが、やはり知らない情報もたくさんあった。二日目で印象的だったのはレクイドン



高校の訪問である。同年代のベトナム人高校生と話すことができ、ベトナムの流行についてもより深く知れた。三日目で印象的だったのはジュンコ小学校訪問である。漢

字で紙に名前を書いたり、折り紙で手裏剣を折ったりすると子供たちが喜んでくれ、こちらも嬉しくなった。四日目で印象に残ったのは下水処理場訪問である。濾過の仕組みや、さまざまな機械を詳しく教えてもらうことができ、自分の見聞を広めることができた。他にも、ホテルの綺麗さや友達との交流など楽しめることがたくさんあり、今回の海外研修を通してとてもいい経験ができた。これからも機会があれば他の国も訪れ、視野を広げてより国際的に物事を考えられるようになりたい。

